



まちづくりイベントの開催

まちづくりシンポジウム 2017

～景観とデザインのまちづくり～

主催：茨城県・石岡市・茨城県都市計画協会

■まちづくりシンポジウム2017

近年、景観資源の保全・活用による個性的で魅力あるまちづくりが求められています。多様な地域の景観は、県民の共有の財産であり、魅力的な地域づくりを行うためには、景観を守り、磨き、つくり、育て、さらに美しいものとして次世代へ継承していく必要があります。

こうしたなか、「歴史と自然のまち石岡」が有する、歴史ある看板建築が残る街並み、美しい里山や農村風景、壁画やステンドグラスで飾られ新しくなったJR石岡駅などの素晴らしい地域資源を活かした“賑わいのあるまち”をどのようにつくっていくかについて、県民の皆様と一緒に考えていくことを目的に、平成29年11月25日(土)石岡市民会館において「まちづくりシンポジウム2017」を開催しました。

まず、筑波大学の藤川昌樹教授による基調講演を行い、続いて、まちづくりの分野で幅広く活躍されている方や、地元石岡市でまちづくり



に取り組まれている方々をパネリストに迎え、「景観とデザインのまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

当日は、県内各地から294名の方にご来場をいただき、参加者からは「景観と暮らしの関係が大変興味深かった」、「古民家再生や街並み保存などの話が大変参考になった」、「様々な立場の方からの意見が聞けて勉強になった」、「住民参加型まちづくりファンド支援事業が興味深かった」等々の感想が寄せられました。

○基調講演「インフラとしての高質な景観とデザイン」

講師 藤川 昌樹 筑波大学教授

景観やデザインというものは、以前は「つけ足し」のように語られることが多かったが、近年「よい景観やデザインは、インフラに対応するぐらい重要なものになってきている」との解説がありました。



また、「以前は、古い街並み・農村景観を保存することが大事と考えられていたが、近年は、保存だけでなく、活用する動きに変わってきている」、



さらに「良好な景観とデザインは、歴史的に形成された景観・場を有効に活用すれば、必ずしも大きなお金をかけずとも創出できる」とのご説明もありました。

行政の職員に対しては、「景観は、他のインフラと異なり、行政が整備すべきものとは限らず、むしろ行政は直接的に手を下さず、応援することの方が大事な場合もある」とのアドバイスもありました。

最後に、「景観というものは、景観だけを整えればいいというものではなく、様々な手法を組み合わせ、つくり上げるもの。私自身も、それらをうまく使いながら、地方都市・農村の再生を考えていきたい」とのお話がありました。

○パネルディスカッション

「景観とデザインのまちづくり」

コーディネーター

藤川 昌樹 筑波大学教授

パネリスト

藤井 さやか 筑波大学准教授

日下 良二 石岡商工会議所 専務理事

久保田 吉文 茨城県建築士会 常務理事

大重 雄暉 石岡市地域おこし協力隊

今泉 文彦 石岡市長

パネルディスカッションでは、まず、今泉市長から景観に対する思いや、これまでの市の取組についてご紹介いただき、その後、藤川コーディネーターと5名のパネリストによる議論が行われました。

藤井様からは、「美しい景観の場所は多くあるが、眺めをきれいにしているだけではなく、使われてこそ生きる場所になる」という意見が出されました。

日下様からは、「自然や文化といった景観資源は、無くなると修復や復元は難しいため、保存と整備が重要」と



いう意見が出されました。

久保田様からは、「ファンドを活用すれば、景観の保存活用はできると思うが、定住化につなげることが課題」という意見が出されました。



大重様からは、「里山景観は、草刈りや田んぼの手入れなど、人が暮らすことで成り立つものであり、そこで暮らす人がいなくなると、失われてしまうものだと実感しつつある」と実体験を踏まえた意見が出されました。

議論の中で、景観対策として市が進めている「住民参加型まちづくりファンド支援事業」も話題となり、市の担当者からは「住民の皆様へ積極的な働きかけをしていく」との決意表明があり、藤井様からも「真の住民参加型を目指して、市の皆様と一緒にまちを育てていけるようなファンドにしていきたい」というメッセージもありました。

今泉市長からは、「市民の皆様のご協力をいただきながら、英知を結集して、後世に素晴らしい景観（石岡の歴史的な街並み、八郷の里山景観など）を伝えていきたい」とのお話がありました。

最後に、藤川教授が「石岡市では、景観やデザインのまちづくりが活発に進められると思うので、市民の皆様も是非注目ならびにご支援をお願いします」と総括されました。

○茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式



◆まちづくりグリーンリボン賞 4件

・石岡駅周辺整備事業

受賞者：石岡市

東日本旅客鉄道(株)水戸支社 他2社 (設計)

東鉄工業(株)水戸支店 他10社 (施工)

・笠間稲荷門前通り「かさまち考」のまちづくり活動

受賞者：笠間のまちと通りのこれからを
みんなで考える会

・坂東市観光交流センター「秀緑」整備事業

受賞者：坂東市、(株)若柳建築事務所

・美浦村地域交流館みほふれ愛プラザ建築事業

受賞者：美浦村、つくば建築設計事務所(株)

松浦・細谷特定建設工事共同企業体

◆まちづくりグッドサイン賞 2件

・東京電力地上機器を利用した案内看板整備

受賞者：水戸市

・ヘルスロード案内看板の設置

受賞者：取手市



石岡駅周辺整備事業（石岡市）



笠間稲荷門前通り「かさまち考」のまちづくり活動（笠間市）



坂東市観光交流センター「秀緑」整備事業（坂東市）



美浦村地域交流館みほふれ愛プラザ建築事業（美浦村）



東京電力地上機器を利用した案内看板整備（水戸市）



ヘルスロード案内看板の設置（取手市）